

令和4年度 学校自己評価システムシート（県立志木高等学校）

目指す学校像	志木高スピリット（立志・言志・続志）の下、高い志を持ち、自分の夢を実現できる学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立と授業改善により、主体的な学びを推進し、学力を向上させる。 志木高スピリットを醸成させ、夢の実現に向けたセルフマネジメント力を身につけさせる。 安心・安全な学校生活を保障し、学校生活に誇りと自信を持たせる。 地域とともに歩む、魅力ある高校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			実 施 日 令 和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>【現状】 新型コロナウイルス感染症状況下で、ICTを活用した教育活動を推進し、授業時数と質の確保に努めた。全職員がICTを使用した授業力、技術力を持ち基礎学力の定着と学力の向上への指導の実践を行っている。</p> <p>【課題】 学習習慣の定着、家庭学習時間の増加は依然として大きな課題であり、改善に向けた取組みを検討する必要がある。また、観点別評価を取り入れた学習指導と学習評価、個に応じた基礎学力の定着を通じた確かな学力の向上が求められる。</p>	<p>「学習習慣の確立」と授業改善</p> <p>「主体的な学び」と学力の向上</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①教科を超え教員同士高めあう授業公開週間(年2回)を実施する。 ②BYOD、ICTを活用し学習効果を高め、更なる授業の工夫改善を進める。 ③保護者向けにシラバスやまなびの手引きを配布、活用し、家庭と連携した家庭学習を推進する。 ④新しい教育課程の実施や観点別評価に関して、各教科で検証を行い、校内での研修会を通して評価及び授業改善を進める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①意見交換や参加保護者のアンケートの結果状況 ②-1 ICT機器の有効活用が広げられたか。 ②-2生徒一人一台端末の導入(R5)の進行状況 ③シラバスやまなびの手引きの活用状況 ④授業研究会の活動状況及び各教科、教育課程委員会での新教育課程、観点別評価の検討。 				
2	<p>【現状】 生徒の進路希望は多種多様であるが、大学進学希望者は年々増加傾向にある。生徒は与えられた問題に答えることは慣れてきているが、成しえたいことに向き合う事は不得意で受け身の姿勢が見受けられる。</p> <p>【課題】 生徒一人一人の可能性や適性に合わせた、より高い目標を目指す指導の研究が必要である。また多様な進路希望に応えるため、生徒に主体的な力を持たせる指導の向上を図る必要がある。</p>	生徒の進路実現を図り、セルフマネジメント力の育成に向けた指導体制の取組	<ol style="list-style-type: none"> ①組織的かつ継続的に3年間を見通した進路指導を行うとともに、生徒・保護者へ十分な情報提供を行い、進路意識を高め主体的に進路実現できる生徒を育てる。 ②大学入学者選抜改革への対応と併せ専門学校、公務員、民間就職も含めた、全ての生徒に希望進路実現に向けた指導を推進する。 ③「ShikiDiary」の積極的な活用によるセルフマネジメント力の向上を図る。 ④進路実現させる総合的な探究の時間、LHRの実施や進学補習の積極的な参加の呼びかけを進める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①-1 生徒の主体性を育む各学年進路行事と分野別指導・説明会等の実践状況 ①-2 「進路の手引き」や進路啓発資料の活用状況 ②生徒の進路希望状況と実現状況。大学受験や公務員試験受験への目標に向けた取組状況。補習・面接・小論文等の指導実施状況。生徒・保護者の進路指導満足状況 ③「ShikiDiary」活用アンケート結果状況 ④進学講習等が計画的に実施し、生徒への意識付けができたか。 				
3	<p>【現状】 年々学校全体が落ち着いてきており指導案件も減り良好な状態である一方、生徒一人一人が抱える課題が多様化する傾向にある。</p> <p>【課題】 安心・安全な学校生活を保障するため、生徒の実態把握と、潜在化している問題を早期発見し、状況に応じた指導・支援が求められている。また、誇りと自信を持たせるため教育活動を通じて小さな「志」を積み重ね、自立性を高める必要がある。</p>	<p>安心・安全な学校生活の保障</p> <p>志木高生としてのプライドを持ち学校へのエンゲージメントを高める</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①情報リテラシーや公共施設・交通機関の利用マナー向上を図る。 ②朝の登校指導や様々な場面において、生徒の様子をしっかり観察し情報の収集に努め、実態を正確に把握する。 ③スクールカウンセラーや養護教諭、担任との情報共有に努め、適切で細やかな指導を行う。 ④非常時における生徒の安全の確保する体制づくりと、生徒の防災意識の向上を図る。 ⑤スマート連絡帳に替わる緊急連絡アプリ等を導入し、緊急時の迅速な情報発信を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①情報教育や交通安全教室等の実施状況 ②全学年で整容指導や挨拶の励行等統一した指導が行えたか。 ③遅刻・欠席数の推移や挨拶の励行等の状況およびSC、SSW 活用状況 ④定期的な設備点検と効果的な防災教育の実施状況。 ⑤有用な連絡手段の導入と効果的な活用を進めることができたか。 				
4	<p>【現状】 助け合いの精神がある風通しの良い職場環境であり、生徒との関係性も良い魅力ある学校であるが、教職員の慢性的な超過勤務が解消されていない。</p> <p>【課題】 教職員が自らの専門性を最大限発揮することができるようにするために、学校の業務改善に全校で取り組んでいく必要がある。また、生徒の活躍や本校の先進的な取り組みについてより理解を深めるため、引き続き様々なメディアを活用し情報発信を行う。</p>	<p>チームで取り組む業務改善・職場環境の整備による魅力ある高校づくり</p> <p>保護者・地域に向けた志木高校の魅力の積極的発信</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①校務分掌や校内委員会の持ち方、業務の内容や進め方を見直す。教職員自らも教育活動に加えて、校内業務(分掌・係活動等)に携わる点を自覚し業務の内容や進め方等について、改善を進め、負担感の偏りをなくし、働き方改革を促進する。 ②部活動、学習サポーターの効果的な活用とICT支援員の導入を含め校務の効率化について模索する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①-1 「学校における働き方改革基本方針」に則り業務内容や業務の進め方を見直し改善が進んだか。 ①-2 教職員の悩みを吸い上げ、企画委員会、衛生委員会、保健室、学年等を通じてチームで解決を図れたか。 ②継続している支援の状況とICTの活用等で校務の効率化が図れたか。 				
			<ol style="list-style-type: none"> ①全職員の協力により、学校説明会等を開催する。 ②志木市との連携事業や、各種行事を通して、生徒会や部活動等における校外機関と連携した活動を行う。 ③様々なメディアを活用して本校の魅力を情報発信し中学生や地域の人の理解度を高める。 ④PTAや関係機関との連携を深めながら50周年記念事業の準備を進める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①全職員が広報活動に参加できたか ②校外機関と連携した取組の活動状況。講演会等の外部人材の活用状況 ③ホームページ更新状況や学校説明会、近隣中学校への情報発信実施状況 ④準備並びに実行委員会の活動の状況 				